

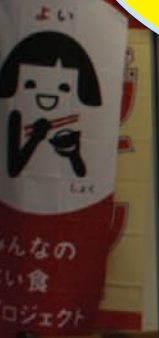
ひまわり No.11

消防広報 平成22年(2010)8月20日

編集・発行 出雲市消防本部 消防総務課

TEL: (0853)21-2119(代)

e-mail:soumu@izumo119.or.jp



設置しましたか? 住宅用火災警報器!

住宅火災における死者をなくすために、住宅用火災警報器の早期普及を目的とし、定期的に大型店舗などで、広報活動を実施しています。今、お住まいの住宅にも消防法及び火災予防条例の定めにより、平成23年5月末日までに設置が必要となります。

詳しいことは消防本部予防課(21-6921)または最寄りの消防署へお尋ねください。

住宅用火災警報器(以下住警器)に関するQ&A

Q1 なぜ必要なの?

A 住宅火災での死者が発生した原因の6割が『逃げ遅れ』です。住警器を設置することにより、早めに火災の発生を知ることができたら、助かる可能性が大きくなります。

Q3 どこに設置するの?

A 寝室として使用する部屋です。寝室が2階にある場合は、**階段の踊り場**にも設置が必要です。



Q2 どこで買えばいいの?

A 消防防災機器取扱店、電気店、ホームセンター等で取り扱われております。



※購入時の目安として、日本消防検定協会が品質を保証する「NSマーク」つきのものを選びましょう。

Q4 どんな種類があるの?

A 大きく分けると、「煙」に反応するタイプと「熱」に反応するタイプがあります。
寝室や階段に設置するものは「**煙**」タイプの**感知器**です。



消防長室だより

消防長 板倉 優

現在、出雲市の消防職員は211名です。消防組織全体を統括する消防本部と、実際に火災や救急現場に出動する消防署があります。

消防本部は、全体をまとめる消防総務課、工場や事業所等の消防設備等の指導や防火活動を行う予防課、消防活動の指揮や消防団の仕事を行う警防課、救急業務の高度化、病院との連携、市民への救命講習を行う救急救命センター、そして、119番通報を受け、各部隊に指示を与える指令課があります。



消防署は、出雲署、出雲西署、平田署、大社署、斐川署の5署と、佐田、多伎に分署があります。

消防署では、災害時の消火活動・救助活動・救急救命活動を行います。出動の合間に、装備の点検、各種災害に対応するための訓練、管轄区域の水利(消火に使用する水の確保)の点検、工場や事業所の消防設備の点検指導のほか、日々変化する新しい道路や住宅を詳細に調査し、119番通報の際に瞬時に場所の特定ができるようにしています。

消防署に勤務する職員は、1回の勤務は24時間で、その間

は、朝から翌朝まで連続して勤務します。今、労働基準法では1週間に38時間45分勤務となっていますので、平均すると3日に1日の勤務となります。

消防職員にとって、管轄区域の道路事情を掌握しておくことは大変重要です。サイレンを鳴らして出動しても、工事中で通行止めに遭遇してはいけません。新しい住宅や道路もできてきます。休みの日等を利用し、また、自分の体力維持もかねて、管内の状況を調査します。

急病や交通事故での救急出動は年間に約5,500件あります。各消防署からは、平均で6~7分、遠いところでも20



分以内に到着できる体制を組んでいます。現場到着の時間も重要ですが、特に心肺停止等重症の患者の方には、現場到着と同時に適切な処置が求められます。救急救命士は医師の指示のもと、一定の医療行為ができ、現在島根県内の消防署には約200名の救急救命士がいますが、出雲市には50名の職員が資格を取得しており、救急車に乗務しています。その技術も、島根県立中央病院、島根大学附属病院との連携により全国的に非常に高い評価を得ています。

消防職員は、これからも、市民の皆様様に安心と安全を確保するために、一層の努力をしております。

平成22年 上半期火災・救急統計 (1月～6月)

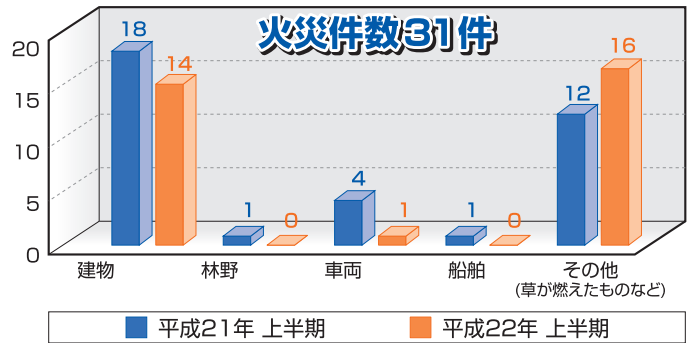
火災統計

火災概要

火災は31件で、前年同期の36件と比べ5件減少し、約6日に1件の割合で火災が発生しています。

また、損害額は約4,650万円(前年同期1億7,388万円)で前年と比べ減少しています。死傷者は、死者3名(前年同期1名)、負傷者4名(前年同期2名)でした。

出火原因別ではたばこ・火入れによるものが一番多く、次いで放火の疑いとなっています。



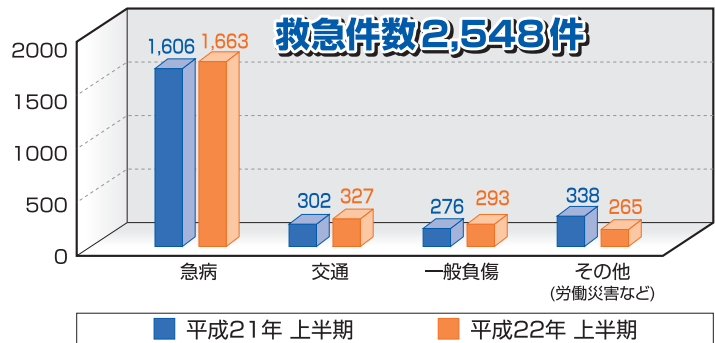
救急統計

救急概要

救急は2,548件で、前年同期の2,522件と比べ26件増加し、1日平均約14件救急出場したことになります。

また、搬送人員は2,427名で前年と比べ62名増えています。

事故種別では、急病が1,663件と最も多く、全体の約65%を占め、傷病程度別では軽症が全体の49%を占めています。



火遊びによる火災を防止しましょう

火遊びが原因による火災が毎年全国で、1,900件前後発生しています。その大半が、ライターやマッチ、花火を使った子供の火遊びによるもので、最近特に頻発し、尊い命が失われています。

子供の火遊びによる火災は、大人がいない時や、人目につきにくい場所で発生することが多いため、発見が遅れ火災が大きくなることがあります。

火遊びをさせない為に、次のような点に注意を払い、日頃から子供に火の怖さや取り扱い方を教えてあげましょう。

ライターやマッチを子供の手の届かぬところに置かない

子供の火遊びを防ぐ最良の方法は、簡単な操作で着火するライターやマッチなどを子供の手の届かない場所へ置くことです。

子供だけを残して外出することを避ける

やむをえず子供だけを残して外出する場合には、ガスコンロなどの元栓を閉めて火が付かないようにし、外出時間も短くしましょう。

子供だけでは火を取り扱わせない

子供は、たとえ火の取り扱いが出来ても火の持つ危険性を十分に理解することは出来ません。花火や焚き火をする時には、必ず大人が立ち会いましょう。

子供の火遊びを見かけたら注意してやめさせる

子供は火遊びに興味を覚えるもので、エスカレートしていくとその頻度も増え、行動も危険なものとなります。子供の火遊びを見つけたら必ず注意し、やめさせましょう。

応急手当を身につけましょう!

応急手当講習会内容

講習会の種類	受講時間	主な受講内容
救急講習会(救急法)	1～2時間	心肺蘇生法 ・ AED使用方法
普通救命講習会 (I・II) (修了証交付)	I:3時間 II:4時間	心肺蘇生法 ・ AED使用方法 止血法及び異物除去法
上級救命講習会 (修了証交付)	8時間 (1日講習)	上記救急講習の内容及びその他の応急手当
応急手当普及員養成講習会 (認定証交付)	24時間 (数日間)	上記内容をすべて受講し、応急手当普及員としての指導要領

AED(自動体外式除細動器)を貸し出します!



【貸出条件】

- ・住民が主催又は参加する、各種イベント等に貸し出します。
- ・消防署又はその他の講習機関が実施する「普通救命講習」以上の講習を修了しているスタッフが参加していることなどです。

お問い合わせ先
消防本部警防課 救急救命センター (21-6923)



参観しよう！ 出雲市防災訓練

9月1日は「防災の日」です。これに併せ、出雲市全域において、平成22年度出雲市防災訓練が実施されます。メイン会場である出雲市朝山町の出雲市立南中学校では、「各防災関係機関の連携による災害対応」をテーマに、豪雨による水害・土砂災害や大規模地震災害を想定した訓練が行われます。

みなさんも災害時に備え、防災意識を高めるために、訓練を参観しましょう。



【平成21年 出雲市防災訓練より】

日時／平成22年9月1日(水)
9時～12時
会場／出雲市立南中学校
出雲市全地区
(稗原・朝山之立地区を除く)
33地区「コミュニティセンター」



第54回 島根県消防操法大会開催



8月1日(日)安来市の中海ふれあい公園において「第54回島根県消防操法大会」が開催されました。

大会には県内の消防団35チームが小型ポンプの部とポンプ車の部に分かれて、日頃の訓練の成果を競いました。

大会には県内の消防団35チームが小型ポンプの部とポンプ車の部に分かれて、日頃の訓練の成果を競いました。厳しい訓練に励んでいた団員たちは大勢の観客が見守る中、正確で素早い消防操作を披露し、観客からは大きな歓声と拍手が送られていました。

小型ポンプの部(24チーム参加)

- 出雲市 出雲市消防団 神門分団 7位
- 出雲市 出雲市消防団 国富分団 9位
- 出雲市 出雲市消防団 東須佐分団 14位
- 斐川町 斐川町消防団 第4分団 13位



水難事故に備えて

水難救済会出雲救難所平田支所では、8月19日(木)に十六島漁港で落水者救助訓練、救命索発射銃操作訓練等実施しました。また、出雲救難所大社支所、日御碕支所及び鶴鷲支所では、第八管区海上保安部、出雲地区小型船舶連合会、出雲市消防本部大社消防署と合同で8月22日(日)午前8時30分から、出雲市大社町杵築北の大社漁港において、海難救助訓練を実施します。

この訓練では、火災船を想定した消火訓練、救命銃やゴムボートを用いての孤立者救助訓練、負傷者をヘリコプターから救助する訓練、油漏れに対処するオイルフェンスの展開訓練等を行います。



【平成21年 海難救助訓練より】



消防救助技術の 向上を目指して！



7月28日(水)広島市で開催された「第39回中国地区消防救助技術指導会」に当本部から5種目11名の隊員が出場しました。

その結果、2種目2名の隊員が上位成績を収め、8月27日(金)京都市で開催される全国消防救助技術大会への出場権を獲得し、さらに消防救助技術の向上を目指します。

近年災害は多種多様化し、災害現場においても様々な活動が求められています。救助隊員は、市民の皆様への安心・安全を守るため、日々厳しい訓練を重ねています。

代表 (電話 21-2119) (FAX21-8241)

- 消防総務課(電話 21-6920) ● 予 防 課(電話 21-6921) ● 警 防 課(電話 21-6923) ● 指 令 課(電話 21-6924)
- 出雲消防署(電話 21-6926) ● 佐 田 分 署(電話 84-0915) ● 出雲西消防署(電話 43-8119) ● 多 伎 分 署(電話 86-2149)
- 平田消防署(電話 63-5519) ● 大社消防署(電話 53-2373) ● 斐川消防署(電話 72-0800)

災害案内(電話 23-0119) ホームページアドレス <http://www.izumo119.or.jp>

お尋ねは